

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスめばえひまわり				公表日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	学習室、静養室、機能訓練室と区分けができるようになっており、スペースは余裕のある状態での対応を行っている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	人員基準及び加配配置の児童指導員数の配置数は満たしている。	子の状態から考えると、もう少し、人員的に補強が必要と思われる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	環境上の設定において、障害の特性に応じた設備等は、個別対応及び、活動によって分かれることができる部屋がある点、ロッカーや靴箱の構造化はできている状況、標準であると解釈。	築年数が古く、バリアフリーの構造の家ではない。段差を埋めるグッズを利用するなどの工夫が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	消毒清掃は毎日行っている。	建物の老朽化がある。築年数が古く、その都度修繕する必要性がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	分けることができる構造となっているため、活動や、児童の精神状態により、個々の対応が可能である環境である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	4	子の状況の振り返り、その課題を朝のミーティングのときに行っている。	朝の時点で振り返りを行っているので、パート職員が昼出勤を行う際に、綿密とまでは言えないでの、参画が行えるよう検討していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	年に1回保護者アンケートを実施している。その内容を確認し、反映している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	全職員間で、児童に対する意見等を集約し、活動に反映している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	→	現状第三者による外部評価は受けていない。今後検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	福岡市出前講座にて、年1回対応を行っている。また、法定研修を実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	児童発達支援管理責任者管轄のもと、行われている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者との面談、及び子の状況の把握により、アセスメントを行い、そのニーズから本人に対しての我がひまわりでできるアプローチはなにか、検討している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	作成するにあたり、子の状態把握として、職員に聞き取りを行い、反映をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画を把握し、個の児童の計画の中でも優先が高いものを、意識した支援が行われている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	連絡帳及び、振り返り記録により、子どもの状況の把握・観察分析を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	3	5領域を意識した「本人支援」に関して、個の実態にあった支援目標の作成 また「家族支援」に関しては、進路、レスパイ、保護者の相談等を記載している。	「移行支援」「地域支援・地域連携」に関しては、具体的な設定ができるないのが現状であり、私達の事業所が、地域として成り立つ意義からの検討をしなければならない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	活動内容に関しては、休日長期休暇中の活動に際しては会議にて、平日の活動に関しては、児童の状況を鑑み適宜検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3	活動に関しては、調理、外出、工作、またはグループ別活動を行い、満足感を得られるよう、心がけている。	ただ、調理に関しては、新たな方式を行うことも検討。

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個を重んじることを重視しており、個・集団のバランスは、良いと思われる。個別対応においては一定の評価がある。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝に大まかな内容を決め、昼に再度検討し、チームにて役割の再確認を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了時間が各職員バラバラであるため、次の日の朝に、活動内容児童状況の振り返りを行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	朝礼時、前日の振り返りを行い、記録を取り、児童状況及び保護者状況の確認を実施している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6ヶ月毎のモニタリングを行い、現状の確認をしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	3	「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」に関しては複数組み合わせての支援を行っている。	「地域交流の機会の提供」においては、検討中であり、今後児童と地域をつなげていくプログラムの検討をする。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2	話し合う活動として、調理活動を行う際に、話をしながら作るものを見つける。また日々の活動において、課題の選択制を設けている。	小集団での活動の際のグループ分けは、職員が子の実態把握を行い、活動を決めているため、その点は選択制ではない。子どもたちが自分は何をしたいか、どんなところに行きたいか、調査することも検討材料である。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	医療に関しては、子の居住地区での対応ができるようかかりつけ医のリスト化している。また協力医は、近隣の内科医院にお願いしている。障害福祉サービス事業所の紹介等は行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	下校時間等は保護者からの報告で対応している。 児童の引き継ぎに関しては必ず行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	未就学児のお子様に関して、契約となった場合、保護者同意の元、情報共有を行わせていただいている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	本年度は、障害福祉サービス移行の生徒はないが、次年度は、移行生徒がいるので、その際は引き継ぎ資料の準備を行う予定である。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8	→	スーパーバイザーとの対応、接点は現状ではない。今後検討課題である。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	8	→	現在地域の公園等にて遊ぶことはあるが、地域保育園、幼稚園等また児童館との交流はないため検討課題である。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8	→	現在、地域自立協議会には参加していないが、研修等充実を図るために今年度は計画をする予定。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時、または個別連絡にて、状況等を伝えている。またかおを合わせて会議形式で行うこともある。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8	→	家族を含めた研修会の実施は行っていない。個別での保護者に対しての情報提供含め検討していく。
支 援 方 法	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	アセスメントを実施し、保護者に子の実態の聞き取りを行い、計画の作成を行っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画、説明・同意のもと対応している。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	子育て上の悩み、または、不安を取り除くために、新規利用児童保護者に対して細かな連絡を行っている。また、利用保護者の悩みも児童発達支援管理責任者を通じて行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8	→	以前までは、めばえグループ合同での夏祭りや餅つき大会を行っていたが、コロナ渦を過ぎてからは開催されていない。保護者どうしがお互いの悩みを聞けるような会を開いていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	保護者から、不安なことや、気になることがあった場合基本児童発達支援管理責任者が対応にあたっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的にブログでの活動報告を掲載している。また+メッセージアプリにて、各児童の様子を送付している。行事予定は文書にて送付している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	保護者との連絡は主にプラスメッセージを利用し、職員と各保護者感でのグループを使用して、情報の共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	→	今後検討課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアルを作成しているまた保護者には緊急時利用する病院の一覧表を配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPにおける机上訓練を行い、共通理解をはかっている。非常災害時の対応について連絡体制、及び出勤率を%で分類している対応別マニュアルがある。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約前に、母子手帳を持参してもらい、ワクチン実施状況（特に麻疹・風疹）の確認、てんかん時対応等、状況により同意書を作成し、対応を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	指示書の通り対応にあたっている。また、児童保護者との連絡を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画に基づき、各法令研修を実施している。避難訓練も実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	避難訓練の実施状況の報告を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	事故報告、ヒヤリハット事例集を、保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束適正化委員会を発足し、子の状況を鑑み、組織的に判断及び保護者には内容説明を行い、文書にて同意を得ている。	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		放課後等デイサービスめばえひまわり						
		公表日 2025年2月21日						
		利用児童数 22		回収数 17				
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 15	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1	ご意見 目的に応じた部屋をそれぞれ設けてあると思うが、各部屋の広さが十分かどうかわからない。	ご意見を踏まえた対応 →現在学習室、機能訓練室（リビング・和室）、静養室とあり、学習スペースと余暇スペースを分けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 15	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	はい 11	どちらともいえない 3	いいえ 0	わからない 3	事業所を拝見する機会がないためわからない。	→バリアフリー対応の構造とまでは言えません。障がい特性に関しては、荷物置き場、連絡帳置き場等構造化した仕組みとなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい 14	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 1	職員さんによって考え方があらわしがあります。	→統一した支援を行っていくよう、従業員一同取り組んでいきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 0	ある程度の固定化というか、繰り返しは良いと思います。	→今後も職員一同、子どもたちの充実した一日が過ごせるよう努力していきたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	はい 2	どちらともいえない 1	いいえ 10	わからない 4	相手方のことがあることなので、機会に恵まれればいうと形でしょうか。	→今後検討いたします。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 17	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0		
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 16	どちらともいえない 0	いいえ 1	わからない 0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 4	どちらともいえない 1	いいえ 6	わからない 6		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	はい 17	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい 13	どちらともいえない 1	いいえ 2	わからない 1	定期的な面談はありませんが、送迎時にお話いただいていると思います。	→今後の参考にさせていただきます。ご相談月間を作りたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	はい 15	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	はい 3	どちらともいえない 0	いいえ 9	わからない 5	保護者交流があるとありがたいです。	→今後の参考にさせていただきます。保護者交流に関して、計画を立てていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	はい 16	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 1		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	0		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	0		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	とても楽しみにしています。	→ありがとうございます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	休日はアクティブな活動が多く、様々な経験や活動をさせていただいて、子どももとても楽しそうです。	→子どもたちの人生を豊かにする経験値を今後も増やしていきたいと思っています。